

官民一体となったサイバーセキュリティ勉強会の開催

金融分野におけるサイバーセキュリティ対策の強化に向けて、金融業界と中国財務局等が官民一体となって、サイバーセキュリティに関する勉強会を開催。

概要

【取組の背景】

◇サイバー攻撃の手法が高度化・巧妙化し、その脅威が高まっており、金融システム・地域社会の安定にとって重大なリスクとなっている。

◇こうした中、金融分野におけるサイバーセキュリティ対策の取組の強化が求められているが、個々の金融機関に留まらず、金融業界全体、財務局、各県、各県警察本部、日本銀行各支店等が官民一体となって取り組む必要があった。

◇このため、中国財務局独自の取組として、まずは、信用金庫、信用組合を対象とした勉強会を企画し、最新のサイバーセキュリティに関する情報や対処法・注意喚起などを啓蒙することとした。



取組の成果と今後の展開

【勉強会の開催】

◇平成29年9月から、管内の信用金庫、信用組合を対象とした勉強会を、広島県、島根県、山口県、岡山県で4回開催。

◇参加した金融機関からは、「金融機関同士の情報共有が重要であることが理解できた」、「講義内容を組織内で情報共有しサイバーセキュリティ対策に活かしたい」といった声が寄せられるなど、金融機関のサイバーセキュリティ対策への意識を向上させることができた。

【今後の展開】

◇信用金庫、信用組合に加え、銀行、証券会社、保険会社、貸金業者等にも対象を拡大するとともに、各県、各県警察本部、日本銀行各支店等とも連携のうえ、関係機関の知見を活かしたセミナーや勉強会を開催する予定。

◇今後も、官民一体となって、サイバーセキュリティ対策を向上させることとしたい。